

平成25年度

主要な施策の成果

<まちづくりの目標>

健康でやすらぐまち

生涯にわたる学びのまち

思いやりとふれあいのまち

(保健福祉部・こども未来部 関係部分 抜粋)

政策 2-1 健康に暮らせるまちづくり

施策 2-1-1 保健予防の推進

(1) 健康づくりの推進

○保健福祉センター利用状況

区分	保健	子育て	障害	高齢	一般	市機関	合計
利用件数(件)	559	1,051	540	9	70	32	2,261
利用者数(人)	10,198	28,337	11,275	341	2,454	909	53,514

○上記以外(各種相談)利用者数(人)

母性相談	栄養相談	健康相談	子育て支援総合センター	障害者生活支援センター	地域包括支援総合センター	ことばの教室	合計
2,118	20	247	1,217	9	1	5,161	8,773

○健康教育

・実施状況

区分	婦人会	老人クラブ	町内会	企業・サークル	その他	合計
実施回数(回)	8	33	8	28	46	123
受講者数(人)	292	1,191	196	644	1,824	4,147

・健康づくり講座

健康づくり教室	実施回数	参加者数
健康づくり教室	24回	315人
からだスッキリ講座	20回	595人
糖尿病予防講座	13回	173人
リラクゼーション事業	133回	2,296人

・企業や団体が自ら健康づくりに取り組むスマートライフプロジェクトを推進した。

登録社数 7社
 ・帯広市特定検診の結果、糖尿病が重症化するリスクの高い人に訪問や保健指導を行った。
 実施者数 64人

○健康相談

・実施回数 面接 98回 利用者数 面接 300人
 電話 207回 電話 725人

○自殺対策事業

・多分野合同研修会 実施回数 2回 参加者数 92人
 ・自殺の地域分析を実施し、分析結果を公表した。
 ・ゲートキーパー研修会 実施回数 2回 参加者数 106人
 ※うち1回(46人)は、多分野合同研修会に併せて実施

○がん検診・健康診査

・実施状況

区分	検診日数	受診者数
胃がん検診	91日	4,997人
子宮がん検診	集団	15日
	施設	12ヵ月
乳がん検診	集団	16日
	施設	12ヵ月
前立腺がん検診	集団	89日
	施設	12ヵ月
肺がん検診	91日	5,786人
大腸がん検診	集団	107日
	施設	12ヵ月
健康診査	集団	91日
	施設	12ヵ月
肝炎検査	集団	91日
	施設	12ヵ月
市民健康診査	集団	91日
	施設	12ヵ月
骨粗しょう症検診	施設	12ヵ月

・市民健診・健康診査保健指導(初回支援実施分)

積極的支援 利用者数 1人
 動機付け支援 利用者数 1人

- ・子宮頸がんワクチン予防接種実施状況
子宮頸がん予防ワクチン 接種者数 189人
- ・小規模事業所及び生活保護受給者に対し、がん検診等の周知啓発を実施した。

○訪問保健指導

- ・訪問指導実施状況

区分	健康診査の 要指導者等	閉じこもり 予 防	介護家族者	寝たきり者	認知症老人	その他	合 計
実訪問者数(人)	46	6	1	1	2	12	68
延訪問者数(人)	50	7	1	1	3	33	95

○身体障害者体力向上事業

- ・実施回数 250回 実参加者数 124人 延参加者数 6,399人

○公衆浴場活性化推進事業

- ・浴場経営の安定化と、公衆衛生の維持増進に寄与することを目的とし、補助の拡充を行った。
家族・地域の絆を育むふれあい銭湯事業補助金 14件

【保健福祉部 健康推進課】

(2) 感染症対策の推進

○予防接種

- ・実施状況

区分	ジフテリア・ 百日咳・破傷 風・ポリオ	ジフテリア・ 百日咳・ 破傷風	ジフテ リア・ 破傷風	急性灰 白髄炎 (ポリオ)	麻しん・ 風しん 混合	麻しん 単独	風しん 単独
接種者数 (人)	4,552	1,418	1,119	不活化： 1,527	2,685	0	0

○結核予防

- ・検診実施状況

区 分	BCG接種	間接撮影
受診者数(人)	1,175	6,005

○感染症予防

- ・インフルエンザ予防接種実施状況

インフルエンザ対策として、受験生への補助及び65歳以上の高齢者への一部費用助成を行った。

中学3年生・高校3年生 接種者数 1,454人
高齢者(65歳以上) 接種者数 19,089人

- ・細菌性髄膜炎予防接種実施状況

ヒブワクチン 接種者数 5,344人
小児用肺炎球菌ワクチン 接種者数 5,540人

- ・エキノコックス症検査実施状況

区 分	一 般	児童・生徒
血清検査受診者数(人)	21	1

【保健福祉部 健康推進課】

施策2-1-2 医療体制の充実

(1) 地域医療体制の充実

○看護師等養成機関確保対策

- ・看護師養成機関への補助 3件
- ・帯広高等看護学院ボイラー修繕 帯広市分担率 70%

【保健福祉部 健康推進課】

(2) 救急医療体制の充実

○休日、夜間における急病診療体制

- ・一次救急

区 分	内 容	患者数(人)		
		市民	市民以外	計
夜間急病センター	年中 午後9:00～翌午前8:00	3,420	1,456	4,876
	夜間 午後7:00～ 午後9:00	4,423	1,625	6,048
在宅当番医制	休日 午前9:00～ 午後5:00	8,994	4,881	13,875
	日曜			
休日歯科在宅診療	休日 午前9:00～ 午後4:00	409	366	775
合 計		17,246	8,328	25,574

・二次救急

区 分	厚生病院	協会病院	第一病院	合 計
待機日数 (日)	208	114	114	436
患者数 (人)	1,681	622	536	2,839

※患者数は市民のみ

・二次救急協力医療機関

区 分	開西病院	協立病院	北斗病院	合計
待機日数 (日)	25	25	141	191
患者数 (人)	36	30	363	429

※患者数は市民のみ

・休日、夜間における一次救急医療機関の案内
急病テレホンセンター案内状況

音声テープ案内 (件)	職員対応 (件)	合計 (件)
4,903	4,524	9,427

※職員対応の件数は市民のみ

・二次救急医療に係る体制整備として、3病院及び協力病院との連携を図った。

○新たな夜間急病センター整備事業

・施設の老朽化に伴い夜間急病センター施設を移転改築した。

名称	帯広市休日夜間急病センター
供用開始日	平成26年4月1日
建設場所	柏林台西町2丁目
構造	RC造 平屋建
延床面積	687.66㎡
省エネ対策	太陽光発電(4kw)、LED照明

【保健福祉部 健康推進課】

政策2-2 やすらぎのあるまちづくり

施策2-2-1 地域福祉の推進

(1) 地域福祉活動の充実

○地域福祉活動支援

- ・地域福祉事業の中心的役割を担う社会福祉協議会を支援し、地域福祉活動の推進を図った。
- ・地域での交流活動の支援などにより、支え合う地域福祉活動を促進した。

地域交流サロン参加者数 20,251人

○民生委員・児童委員活動

- ・民生委員・児童委員活動を支援し、地域における相談活動の充実を図った。

○成年後見制度利用支援事業

- ・本人に代わり契約や財産管理を行う成年後見制度の利用を支援したほか、北海道との共催により市民後見人養成講座を開催するなど、高齢者等の権利擁護を図った。

○グリーンプラザ管理運営

- ・福祉団体等の活動拠点であるグリーンプラザを管理運営し、地域福祉活動の促進を図った。

グリーンプラザ利用状況

区 分	高齢者	障害者	地域福祉	一般	公的	合計
利用件数 (件)	4,710	70	5,247	80	414	10,521
利用人数 (人)	105,724	833	40,259	1,929	11,037	159,782

○地域福祉推進事業

- ・専門職員を配置し、高齢者等の権利擁護に関する講演会の開催、先進地視察、関係機関・団体によるネットワーク会議の運営などを通して、ともに支え合う地域福祉の環境づくりを推進した。

・きづきネットワーク事業

困難ケース対応件数

175件 (延べ件数331件)

【保健福祉部 社会課・高齢者福祉課】

(2) ボランティア活動の促進

- ボランティア育成
 - ・ボランティアの養成や活動を支援し、活動の促進を図った。
ボランティアセンター登録者数 3, 871人

【保健福祉部 社会課】

(3) 保健・福祉・医療の連携推進

- 健康生活支援審議会
 - ・健康生活支援審議会の運営を通して、地域福祉計画に基づき、保健・福祉・医療に関する施策を総合的に推進した。

【保健福祉部 社会課】

施策2-2-2 高齢者福祉の推進

(1) 高齢者の生きがづくり

- 高齢者おでかけサポートバス事業
 - ・対象者数（平成26年3月末現在） 32, 234人
 - ・交付者数（平成26年3月末現在） 17, 532人
- 老人クラブ等活動支援
 - ・老人クラブ育成 対象クラブ数 166団体 8, 812人
 - ・老人専用バスの貸出 利用回数 91回 2, 191人
 - ・高齢者スポーツ大会の開催 参加人数 661人
- 敬老祝金支給
 - ・支給人数 77歳 1, 726人
 - 88歳 645人
 - 100歳 27人

【保健福祉部 高齢者福祉課】

(2) 介護予防の推進

- 介護予防事業
 - ・介護予防二次予防事業
 - 「運動機能の向上」プログラム 参加実人数 825人
 - 「栄養改善」プログラム 参加実人数 2人
 - 「口腔機能の向上」プログラム 参加実人数 67人
 - ・二次予防事業の対象者把握事業 二次予防事業の対象者数 5, 465人
 - ・介護予防普及啓発事業
 - 口腔機能の向上に関する講座 実施回数 56回 参加延人数 752人
 - 栄養改善に関する講座 実施回数 8回 参加延人数 77人
 - ひろびろ元気教室 実施回数 112回 参加実人数 130人
 - ・介護予防活動支援事業
 - いきいき温泉事業 実施回数 136回 参加実人数 152人

【保健福祉部 高齢者福祉課・介護保険課】

(3) 在宅サービスの充実

- 高齢者在宅サービス支援
 - ・ねたきり高齢者等寝具類クリーニングサービス 利用実回数 192件 利用実人数 128人
 - ・ねたきり高齢者等理美容サービス 利用実回数 480件 利用実人数 130人
 - ・移送サービス 利用実回数 6件 利用実人数 2人
 - ・高齢者在宅生活援助サービス 利用実回数 264件 利用実人数 70人
- 地域介護・福祉空間整備事業
 - ・地域密着型サービス整備
 - 小規模特別養護老人ホーム（2カ所）
 - 小規模多機能型居宅介護事業所（2カ所）
 - 認知症高齢者グループホーム（1カ所）
 - ・市町村提案事業整備
 - 共生型福祉施設（1カ所）
 - ・スプリングラー整備
 - 小規模多機能型居宅介護施設（2カ所）
 - 認知症高齢者グループホーム（1カ所）
- 高齢者在宅生活支援事業
 - ・家族介護者リフレッシュ事業 実施回数 8回（日帰り温泉：4回 食事会等：4回） 参加実人数 111人

- 家族介護用品支給事業
 - ・利用実人数 169人
 - 地域包括支援総合センター運営
 - ・地域包括支援センター4カ所中、地域包括支援センター帯広至心寮にサテライト開設
 - ・各地域包括支援センターにコーディネーター配置
- 【保健福祉部 高齢者福祉課】

(4) 施設サービスの充実

- 老人福祉施設整備補助事業
 - ・建設費・増改築費償還補助 14事業
- 【保健福祉部 高齢者福祉課】

- 介護老人保健施設整備補助事業
 - ・建設費・設備費償還補助 1事業
- 【保健福祉部 健康推進課】

(5) 地域で支える仕組みづくり

- 高齢者相談支援
 - ・ひとり暮らし登録者数 2,265人
 - ・寝たきり・認知症登録者数 158人
 - ひとり暮らし高齢者緊急通報システム事業
 - ・設置台数 791台 (固定型715台、モバイル型76台)
 - 高齢者在宅生活支援 (ひとり暮らし高齢者訪問活動事業)
 - ・利用実人数 1,028人
 - 高齢者虐待防止ネットワーク事業
 - ・虐待通報件数 35件 (うち虐待の認定件数 9件)
 - ・帯広市高齢者虐待防止研修会開催 出席者 108人
 - 高齢者総合相談事業
 - ・総合相談窓口を設置し、高齢者や家族に対する総合的な支援を行った。
 - 総合相談窓口、保健福祉センター相談窓口受理件数 31,551件
 - 高齢者保健福祉計画推進業務
 - ・帯広市健康生活支援審議会高齢者支援部会を開催し、高齢者福祉に関する施策を総合的に推進した。
 - 認知症高齢者見守り事業

・認知症サポーター養成講座	実施回数	49回	参加延人数	1,276人
・出前講座	実施回数	2回	参加延人数	30人
・認知症家族の集い・茶話会	実施回数	12回	参加延人数	101人
 - 高齢者在宅生活支援 (食の自立支援事業)

・総配食数	114,237食	利用実人数	771人
-------	----------	-------	------
- 【保健福祉部 高齢者福祉課】

施策 2-2-3 障害者福祉の推進

(1) 障害者理解の促進

- 障害者理解促進
 - ・ノーマライゼーションエリア推進事業
 - 推進地区に指定している大正地区、大空・南の森地区、東部地区、西帯広地区において、ノーマライゼーション理念の普及啓発をはじめ、ふれあい交流事業や研修事業等各種事業を行った。
 - ・障害者意識啓発活動
 - 帯広駅内公共スペースの「福祉のひろば」と保健福祉センターを活用し、障害者が作成した作品等の展示・即売会や福祉機器の展示会を開催することにより、障害者の交流の機会を拡大するとともに、障害者への理解を深めた。
 - 障害者虐待防止事業
 - ・障害者虐待防止センター事業
 - 虐待通報の受付窓口
 - 虐待通報・相談件数 14件 (うち虐待の認定件数 0件)
 - 虐待防止マニュアル・リーフレット作成配布
 - シンポジウムの開催
- 【保健福祉部 障害福祉課】

(2) 日常生活支援の充実

○障害者自立支援給付			
・障害福祉サービス費等		延受診者数	28,920人
・計画相談支援		利用者数	494人
・障害者自立支援医療費			
自立支援医療（精神通院）受給者証交付状況		交付者数	2,709人
更生医療の給付		受給者数	635人
生活保護受給者の人工透析		実利用者数	70人
・障害者補装具		交付・修理件数	631件
○重度心身障害者医療給付			
・対象者数			305人（年度平均）
・助成件数			71,854人
○特別障害者手当等支給		受給者数	230人
○障害者福祉サービス			
・リフト付福祉バス運行事業		福祉団体利用分	47件
・精神障害回復者通所施設交通費助成		実利用者数	132人
・心身障害者（児）通所施設等交通費助成		実利用者数	558人
・重度障害者等移動制約者タクシー料金助成		実利用者数	2,475人
・在宅重度身体障害者緊急通報システム		設置数	43台
・重度心身障害者理美容サービス		延利用者数	176人
・重度心身障害者クリーニングサービス		延利用者数	62人
○障害者日常生活用具給付			973件
○障害者相談支援			
・基幹相談支援センターの設置			1カ所
・相談体制 総合相談員外 9人		相談件数	13,197件
・帯広市地域自立支援協議会		開催回数	12回
・身体障害者手帳交付状況		交付者数	7,578人
・療育手帳交付状況		交付者数	1,602人
・精神障害者保健福祉手帳交付状況		交付者数	1,244人
○障害者コミュニケーション支援			
・手話講習会 36回開催		延参加者数	741人
・手話ステップアップ講座 40回開催		延参加者数	478人
・要約筆記講習会 10回開催		延参加者数	131人
・点字講習会 9回開催		実参加者数	25人
・手話通訳者派遣		派遣件数	250件
・要約筆記通訳者派遣		派遣件数	47件
○障害者福祉サービス提供事業			
・旧とちか共同作業所の解体			
・障害者総合支援法の施行に向けたシステム改修			

【保健福祉部 障害福祉課】

(3) 自立した地域生活への支援の充実

○障害者社会参加促進			
・回復者クラブ活動事業補助			6件
・かっぱ水泳教室			
帯広の森市民プール 5月8日～7月24日（毎週水曜日）			
12回開催		延参加者数	229人
・障害者職場体験実習			
障害者の就労体験の場を確保するとともに、就労意欲の向上や一般企業への実習受入れを促進するために、市内の就労移行支援事業所又は就労継続支援事業所（B型）を利用している障害のある方が、市役所内各部署で職場体験実習を行った。			
		参加者数	16名（9事業所）
		受入部署数	7課
		実習後就職者数	3名
○障害者地域生活支援事業			
・在宅身体障害者各種創作活動等の教室（4教室）		開催回数	128回
		延参加者数	1,620人
・障害者生活支援センター事業（在宅障害者講座など）		開催回数	10回
		延参加者数	182人
○地域生活支援給付事業			
・移動支援、日中一時支援、訪問入浴サービスの提供により、障害のある人の地域における自立した生活を支援した。			
移動支援		利用者数	370人

- 日中一時支援
- 訪問入浴サービス
- 地域活動支援センター
- 地域移行支援事業
 - ・地域支え合い体制づくり拠点事業
 - ・中途視覚障害者リハビリテーション事業
 - ・身体障害者送迎事業
 - ・福祉ホーム運営費補助

利用者数 744人
利用者数 89人
利用者数 9カ所

サポーター登録者数 174人
延利用者数 98人
延利用者数 4,183人
1件

【保健福祉部 障害福祉課】

施策2-2-4 社会保障の推進

(1) 介護保険制度の健全な運営

○被保険者数（平成26年3月末現在）

世帯数				被保険者数			
総世帯数 (世帯)	第1号被保険者世帯数 (世帯)	第1号被保険者世帯数 対前年比	総世帯数に 占める第1 号被保険世 帯数の割合	総人口 (人)	第1号被保 険者数 (人)	第1号被保 険者数対前 年比	総人口に占 める第1号 被保険者数 の割合
84,338	30,124	103.9%	35.7%	168,634	41,959	103.9%	24.9%

○要介護認定状況（平成26年3月末現在）

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
第1号被保険者 (人)	1,206	1,276	1,925	1,295	847	778	742	8,069
第2号被保険者 (人)	12	31	39	41	17	27	23	190
総数(人)	1,218	1,307	1,964	1,336	864	805	765	8,259

○サービスの利用状況（延人数）

区分	居宅介護 サービス	地域密着 型サービス	施設介護サービス				サービス 受給者計
			介護老人 福祉施設	介護老人 保健施設	介護療養型 医療施設	小計	
第1号被保険者 (人)	55,443	9,441	6,215	5,749	659	12,623	74,022
第2号被保険者 (人)	1,467	78	53	116	0	169	1,709
総数(人)	56,910	9,519	6,268	5,865	659	12,792	75,731

※居宅介護サービスとその他のサービスをともに利用している方がいることから、それぞれの計と合計は一致しない。

○介護保険料軽減の状況（帯広市独自軽減分）

人数(人)	軽減額(円)	軽減前の額(円)	軽減後の額(円)	軽減率(%)
341	4,147,200	12,433,170	8,285,970	33.36

・世帯一人当りの収入が、老齢福祉年金相当額以下

所得段階	基準	人数 (人)	保険料 (円)	軽減額 (円)	軽減後の額 (円)
第1段階	生活保護受給者を除く老齢福祉年金受給者のうち、世帯一人当りの収入が老齢福祉年金相当額以下の場合	9	29,340	14,670	14,670
第2段階	世帯一人当りの収入が老齢福祉年金相当額以下の場合	92	29,340	14,670	14,670
第3段階 (特例)		2	39,900	25,230	14,670
第3段階		0	44,010	29,340	14,670
第4段階 (特例)		0	52,810	38,140	14,670
第4段階		0	58,680	44,010	14,670

・生活保護基準なみの世帯

所得段階	基 準	人数 (人)	保険料 (円)	軽減額 (円)	軽減後の額 (円)
第3段階 (特例)	単身世帯で前年収入130万円以下 の場合。ただし、世帯員が一人増え るごとに60万円を加算する。	194	39,900	10,560	29,340
第3段階		29	44,010	14,670	29,340
第4段階 (特例)		15	52,810	23,470	29,340
第4段階		0	58,680	29,340	29,340

- 第五期介護保険事業計画に基づく保険料改定
 ・介護給付費準備基金の計画的な繰入及び国・北海道・帯広市が応分に拠出し北海道で積立
 ている財政安定化基金を取り崩すことにより、第五期（平成24～26年度）の保険料基準額
 の抑制を図った。

【保健福祉部 介護保険課】

(2) 生活保護制度の適正な運用

○生活保護の現況

保護区分	延人員 (人)	保護区分	延人員 (人)
生活扶助	59,656	出産扶助	3
住宅扶助	58,929	生業扶助	1,625
教育扶助	5,506	葬祭扶助	51
介護扶助	8,289	冬季薪炭費	30,288
医療扶助	56,906	施設事務費	420
月平均世帯数	3,857 世帯		
月平均人員	5,338 人		
月平均支出額	711,817 千円		

○早期把握・自立支援事業

- 生活保護受給者の自立支援の充実、強化に向け、様々なプログラム事業を実施した。
 - 体験的就労型社会参加プログラム
週1回程度の農作業体験を通して、社会参加意欲、就労意欲の向上を図った。
参加者数 32人
 - 屋内作業体験プログラム
週1回程度の就労体験を通して、社会参加意欲、就労意欲の向上及び就労に必要な技能
の習得を図った。
参加者数 15人
 - 就労準備型社会参加プログラム
週1回程度の農作業・公園管理体験を通して、就労に対する不安感の払拭と自信の回復
を図った。
参加者数 7人
 - 中学生学習支援プログラム
夏・冬休みの各10日間と毎週火曜日に居場所を提供し、学習指導や野外活動を通して
社会性や自立心の向上を図った。
参加者数 13人
 - 子ども健全育成プログラム
小学生を対象に、年間30回土曜日に居場所を提供し、学習指導や交流活動を通して社
会性や自立心の向上を図った。
参加者数 6人
 - 若年者訪問支援プログラム
生活保護受給世帯の概ね16歳～40歳までのひきこもり等の若年者を訪問により支
援し、外出の援助等を行った。
支援者数 7人
- 自立支援協議会の開催
実践結果の検証や今後の課題の検証等を行い、報告書を作成した。
開催回数 6回

【保健福祉部 保護課】

政策 2-3 子どもたちが健やかに育つまちづくり

施策 2-3-1 子育て支援の充実

(1) およこの健康支援

○妊婦・乳幼児健康診査

・妊婦健康診査

妊婦一般健康診査

延受診者数 16,966人

超音波検査

延受診者数 8,043人

・乳幼児健康診査

区 分	5 か月児	10 か月児	1 歳 6 か月児	3 歳児
受診者数 (人)	1,180	1,287	1,341	1,361

・歯科保健事業

幼児歯科健診

延受診者数 7,837人

フッ素塗布

延受診者数 6,840人

○母子保健相談指導

・両親教室・育児教室事業

ほんわかファミリー教室

参加組数 234組

すくすく教室

参加組数 366組

・母子保健サービス提供事業

母性相談室

利用者数 2,118人

母子訪問指導員による新生児、産婦訪問指導

実施件数 956件

家庭訪問

区 分	妊産婦	新生児	乳 児	幼 児	その他
延訪問件数(件)	752	736	133	429	210

特定不妊治療費助成

助成件数 97件

栄養食品支給(牛乳、粉ミルク)

延支給者数 241人

○心の発達支援事業

・すこやか親子教室

延参加組数 2,190組

○性の相談事業

・性の電話相談

延相談件数 394件

○食育推進事業

・親子料理教室

参加組数 16組

・パパの料理教室

参加組数 7組

【こども未来部 子育て支援課】

(2) 保育サービスの充実

○保育所整備

・私立保育園の改築に対する補助を行った。

1カ所

・へき地保育所の耐震補強工事を行った。

1カ所

○公立保育所管理運営

・各保育所の修繕を行った。

・施設数及び入所児童数の状況

施設区分	施設数(カ所)	定員(人)	月平均入所児童数(人)
認可保育所	10	960	898

○私立保育所(園)運営

・保育士の処遇改善に対する補助を行った。

・施設数及び入所児童数の状況

施設区分	施設数(カ所)	定員(人)	月平均入所児童数(人)
認可保育所	16	1,620	1,758

○へき地保育所運営

・各へき地保育所の修繕を行った。

・施設数及び入所児童数の状況

施設区分	施設数(カ所)	定員(人)	月平均入所児童数(人)
へき地保育所	7	375	231

※へき地保育所のうち、上帯広保育所(定員30人)については休所中。

○児童保育センター整備

・児童保育センターの耐震診断及び実施設計を行った。

3カ所

・各児童保育センターの修繕を行った。

- 児童保育センター管理
・施設数及び入所児童数の状況

施設区分	施設数(カ所)	定員(人)	月平均入所児童数(人)
児童保育センター	26	1,430	1,315

※分室は含まない。

- 待機児童対策
・認可保育所待機児童を認可外保育施設で一時的に受入れし、児童の保育を行った。
利用児童数 2人
- 延長保育事業
・緑ヶ丘保育所 外25所 日平均利用児童数 193人
- 乳児保育事業
・帯広保育所 外22所 月平均入所児童数 167人
- 病後児保育事業
・ChippS、ひなたぼっこ 延利用児童数 107人
- 特別支援保育事業
・障害児保育 緑ヶ丘保育所 外25所
障害児児童数 83人
要支援児童数 92人
合計 175人
- 休日・一時保育事業
・休日保育(すずらん保育所) 延利用児童数 882人
・一時保育(こでまり保育園、すずらん保育所、豊成保育所) 延利用児童数 7,622人
- 子育て短期支援事業
・子育て短期支援事業の実施(十勝学園) 延利用児童数 49人
- 子育て支援
・保育士等資質向上事業
保育士研修会 5回 延参加人数 1,053人
保育士向けゼミ 3回 延参加人数 92人
保育実践交流会 2回 延参加人数 50人
- 食育推進事業(保育所)
・行事食等の提供を行った。
年7回 こどもの日、ひな祭り、クリスマス、ふるさと給食(4回)
・保護者に幼児期の食生活の重要性を理解してもらうため、食育講座を実施した。
実施保育所(園) 11保育所(園) 延参加人数 239人
・地元産食材を使用した親子料理教室を開催した。
開催回数 2回 延参加組数 親子16組
【こども未来部 こども課】

(3) 幼稚園教育の促進

- 幼稚園振興
・幼稚園・保育所連携促進事業
幼保小連携研修交流事業の実施
こども 20回 411人
大人 144回 256人
1回 150人
- ・幼・保・小・中合同研修会
- ・幼稚園教育環境整備支援事業
幼稚園の特色ある教育活動及び預かり保育に要する経費の一部を補助し、幼稚園教育の環境整備の充実に努めた。
対象園数 14園
- ・特別支援教育に要する経費の一部を補助し、障害児の就園促進を図った。
対象園数 6園
- ・幼稚園教員の資質向上のため、教員研修費を補助し、幼稚園教員の研修機会の充実に努めた。
対象園数 14園
- 幼稚園就園奨励
・父母の経済的負担を軽減し、幼児の就園促進を図るため、就園奨励費及び教材費を補助し、幼稚園教育の充実に努めた。また就園奨励費については、国の制度見直しに伴い、補助額の拡充を行った。
就園奨励費支給者数 1,709人
- ・東日本大震災の発生を受け、被災した幼児の私立幼稚園への就園を奨励した。
対象園児 1人
【こども未来部 こども課】

(4) 地域での子育て支援の充実

- 子ども・子育て支援事業計画策定
・子ども・子育て支援法の改正に伴う「市町村子ども・子育て支援事業計画」の策定に向けたニーズ調査を実施した。
発送数 3,000件
回収数 1,268件
回収率 42.27%

○地域交流推進事業			
・親子で保育体験事業	23回	75組	204人
・保育と給食体験事業	27回	153組	172人
○子育て支援（のびのび子育て応援事業）			
・あそびの広場事業	193回	1, 242組	2, 695人（公立9所分）
・こんにちは赤ちゃん訪問	547回		
・サンデーファミリー事業	12回	193組	502人
			【こども未来部 こども課】
○子育て支援総合センター			
・子育て支援総合センター設置		箇所数	1カ所
・ファミリーサポートセンター事業			
・安心して子育てできる環境を整えるため、市民相互による子育て支援の仕組みであるファミリーサポートセンター事業を平成25年9月より開始した。	116人	援助活動件数	33件
・絵本との出会い事業			
・生後5か月児の乳児を持つ家庭に絵本を配布		配布児童数	1, 180人
○子育て支援センター			
・地域子育て支援センター設置		箇所数	6カ所
○子育て応援事業所促進			
・子育て応援事業所登録制度		登録事業所数	212事業所
○家庭教育学級			
・家庭教育学級	11学級	学級生数	185人
○子ども発達支援			
・幼児こたばの教室		実通室児数	141人
・発達支援センター		実通園児数	296人
・肢体不自由機能訓練事業		参加組数	親子16組
・中等度難聴児への補聴器購入費の助成		助成件数	1件
・こども発達相談室			
・発達相談		相談件数	202件
・2歳・3歳児相談の実施		相談件数	153件
・帯広市地域自立支援協議会こども生活支援会議		開催回数	3回
			【こども未来部 子育て支援課】

(5) 子育て家庭への支援

○児童手当			
・受給対象世帯数（2月定時払）			11, 839世帯
○児童扶養手当			
・受給対象者数			2, 695人（うち父子家庭160人）
○乳幼児等医療費給付			
・0歳児から小学校修了前までの乳幼児等の医療費負担を軽減するため、自己負担分の全部又は一部を助成した。			
・対象者数			13, 244人（年度平均）
・助成件数			172, 686件
○ひとり親家庭等医療費給付			
・対象者数			5, 684人
・助成件数			63, 834件
○助産施設入所措置援護			
・児童福祉法第22条による助産施設			
・帯広協会病院、帯広厚生病院		措置件数	35件
○母子家庭等日常生活支援事業			
・母子・父子家庭へ家庭生活支援員の派遣を行った。			
・生活支援	2人	延日数	7日
・子育て支援	3人	延日数	4日
・延時間数		延時間数	20時間
・延時間数		延時間数	16時間
○母子家庭等自立支援教育訓練給付			
・母子家庭の母に、就職用教育訓練講座受講費用の一部を助成した。			
・ホームヘルパー講座	1人		
○母子家庭高等技能訓練促進			
・資格取得を促進するため、養成機関に修業する母子家庭の母に訓練促進費を支給し、修了後には修了一時金を支給した。			
・支給者	14人	修了一時金支給者	5人
○母子家庭等就業・自立支援事業			
・母子家庭に対する各種の相談活動を行った。			
・母子相談	母子自立支援員1人配置	相談件数	421件
・母子家庭等就業・自立支援センター			
・北海道と共同で母子家庭の母親などの自立を支援するため就業相談を実施した。			
・相談件数	404件		
○未熟児養育医療給付			
・平成25年4月より、認定及び支払い等の事務が北海道から帯広市に権限移譲された。			

助成件数 30件 (11カ月分)

【こども未来部 こども課】

○介護給付・地域生活支援事業	受給児童数	35人
・ホームヘルプ	受給児童数	50人
・ショートステイ	受給児童数	534人
・児童通所支援	受給児童数	48人
・計画相談支援	受給児童数	107人
・移動支援	受給児童数	318人
・日中一時支援	受給児童数	5人
・訪問入浴	受給児童数	
○特別障害者手当等支給 (児童)	受給資格者数	480人
・特別児童扶養手当		
○子育て支援 (児童虐待予防・防止対策推進事業)	相談件数	549件
・家庭児童相談室		

【こども未来部 子育て支援課】

施策2-3-2 青少年の健全育成

(1) 青少年を育む環境の整備

○青少年健全育成	設置件数	1, 179件
・子ども110番の家		
○子どもの居場所づくり事業		
・放課後子ども教室・放課後子ども広場		
小学校を核として、放課後や週休日などに、児童が異学年の児童や地域住民と交流する機会と場所を設け、地域の大人、NPO法人等がボランティアとして特別教室等を活用して、児童へ多様な体験活動を提供する居場所づくりを行った。放課後子ども広場は、学校内に併設した児童保育センターと連携して居場所づくりを行った。		
放課後子ども教室	21校	延参加児童数 21, 495人
放課後子ども広場	5校	延参加児童数 2, 438人
土曜あそびの森	6校	延参加児童数 627人
○青少年センター事業		
・指導員及び指導協力員等による街頭指導を実施し、今年度から青少年の深夜徘徊等の不良行為を指導するため、午後11時からの特別深夜巡回を導入した。その他、相談員による青少年の悩み相談等を実施し、非行防止及び社会環境改善に努め、青少年の健全育成の助長を図った。		
街頭指導・声かけ総数	504回	545人
相談指導	280回	58人
立入調査	151事業所	
・おびひろ地域若者サポートステーション		
若年無業者に対し、就労相談や各種支援プログラムを実施しながら就労支援を図る「おびひろ地域若者サポートステーション」の取り組みを支援した。		

【こども未来部 青少年課】

(2) 体験活動の促進

○体験活動促進		
・地域子ども会リーダー宿泊研修会		参加者数 243人
・ジュニアリーダー養成講座「あすかの会」		会員数 21人
・ジュニアリーダー「あるふあの会」		会員数 12人
・ジュニアリーダーコース道東		参加者数 2人
・北海道地域子ども会リーダー研修会		参加者数 5人
・子ども王国(プラザまつり)		参加者数 800人
・十勝子ども雪合戦		参加者数 256人
・中学生からのメッセージ	14校	参加者数 14人
・大人の集い		参加者数 1, 195人
・若者向けまちづくり活動などの情報収集、提供		

【こども未来部 青少年課】

(3) 体験活動施設の整備・利活用

- 児童会館等の利活用
 - ・子供たちの科学する心や創造性・社会性を育むため、日帰り・宿泊学習のほか科学クラブや文化クラブなどの事業を行うとともに、野草園・岩内自然の村の管理を行った。

施設の利用状況

施設名	利用者数(人)
児童会館	104,319
野草園	12,829
岩内自然の村	12,067

- 実験実習・児童文化行事

星空のコンサート		155人
よるの動物園	3,	536人
・未来に伝えるあそび体験		
おはなし会とむかし遊び体験		104人
昭和の遊び道具たち展	1,	618人
おびひろズーいきものジャンボカルタとり		24人
ふわふわヒコーキチャレンジ大会		62人
動物園で凧づくり		62人
新聞紙で凧づくり		40人
凧揚げなどに関する書籍展示		
・アイヌ民族・文化		
アイヌ語で自然かんさつ		15人
・その他		
調べてみよう！動物のこと		15人
緑ヶ丘の木を知ろう		55人
はがきを作ろう		65人
ビビリパンダ		34人
ホバークラフト		40人
Zoo Farm		
食べる！たいせつフェスティバル（展示）		
企画展「みんなのおもいで写真展」		
・よりどりみどりがおかフェスタ！		
スタンプラリー		355人
リッキーの乗馬に乗ってみよう！		321人
夏休みわくわく教室	1,	495人
まが玉作り		131人
おりがみし〜ましょ♪・ハッピーおはなし会・ナウマン号inみどりがおか		546人
ゾウペーパーをつくろう・動物園ガイドツアー・動物3Dお面をつくろう！		109人
その他（みどりと花のセンター・美術館協力）	3行事	352人
・広報の共同化の推進		
4館連携パンフレットの作成・配布「散策マップ」	4,	000部
【こども未来部 児童会館、生涯学習部 百年記念館・図書館・動物園】		

政策7-1 互いに尊重し思いやりのあるまちづくり

施策7-1-4 アイヌの人たちの誇りの尊重

(1) アイヌ民族の歴史・文化に関する理解の促進

○アイヌ民族理解促進

・アイヌ生活文化展の開催などにより、アイヌ民族の歴史・文化に関する理解を促進するとともに、アイヌ施策推進計画に基づき、アイヌの人たちの施策を総合的に推進した。

・アイヌ生活文化展開催状況

民具・手工芸品・パネルの展示、アイヌ文化体験コーナー、啓発資料の配布	
8月 9日～ 8月11日	とかちプラザ
10月 6日	生活館
11月 1日～11月22日	西小学校
1月 7日～ 2月 4日	とかち帯広空港
2月 4日～ 3月 4日	JICA

【保健福祉部 社会課】

(2) 生活・教育環境の向上

○アイヌ福祉推進

・生活相談や指導により、アイヌの人たちの生活の向上を図った。

相談件数 417件

相談内容 生活(221件) 健康(85件) 教育(11件) その他(100件)

・北海道アイヌ協会帯広支部の活動を支援し、アイヌの人たちの自主的な活動を促進した。

○生活館管理運営

・アイヌの人たちの活動拠点である生活館の管理運営を通して、生活・文化の向上を図った。

生活館利用状況

延利用件数 1, 189件(うちアイヌ延利用件数 267件)

延利用者数 18, 776人(うちアイヌ延利用者数 3, 793人)

主な利用内容 アイヌ語教室、アイヌ刺繍教室、帯広カムイトウウポボ保存会等

【保健福祉部 社会課】